

第54回技能五輪全国大会Q & A

競技主査 高野雅一

Q 1 持参する工具箱の容量が1 m³を超えてもよいか。

A 1 第54回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは1 m³前後と明記してあります。著しく大きくなければOKです。)

Q 2 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいか。

A 2 かまいません。持参して使用して下さい。

Q 3 モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいか。

A 3 作業説明12「置き引き等の作業は備え付けの作業台を使用すること。」と明記してありますので、持ち込みは不可です。定規等を持参して、競技場の作業台に取付けるなど、現地で作成して下さい。

なお、鉄板加工を作成する作業板は持参してもかまいません。

Q 4 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

A 4 アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けした0.4 mm厚の塗装合板です。

Q 5 置き引き製作時、引き型と同じ寸法で作製した、かいこみ定規を前後に取付けて作業してよいか。〔置引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〕

A 5 モジュール1の作業説明の中で、すべてのモールディングは焼き石膏、置引き仕上げとする。と明記してあります。留め部分は作製したモールディングを切断して接合、補修して仕上げて下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げ面を作ることは禁止です。

Q 6 支給した置引き用アルミ定規に穴をあけてよいか。

A 6 穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。

Q 7 支給材料、360 mm×50 mmのスタットの寸法が長いように思われるが、どうか。

A 7 袖壁の天場及び下場に取り付けるコーナー定木の塗り厚を7 mmにする事で指定寸法になります。しかし、寸法に余裕を持たせるため、350 mm×50 mmに変更します。

Q 8 モールディングCをフリーハンドで切断するとき、下にスタイロフォームや木製の台を敷いて作業してもよいか。寸法や目モリは入っておりません。

A 8 作業説明に記してあります。作業台の上は何も敷かず作業を行って下さい。

Q 9 中心墨及び陸墨を出すとき水平器、下げふりなどの器工具は使用しなくてもよいか。

A 9 課題中心部の位置を基準に、器工具を使って墨出しを行って下さい。

Q10 壁は上塗り完成後、コーナ一定規の角が見えている状態になるのですか。(コーナ一定規を中塗寸法で入れるのか、仕上寸法で入れるか?)

A10 仕上げ寸法で入れてください。コーナ一定規の角は見える状態にして下さい。

Q11 板金加工の際、板金カッター(ニブラー)を使用しても良いですか。(電動工具ではありません)

A11 使用してもよろしいです。

Q12 引き型の提出は作業終了後となっていますが、作業終了後の提出前に周りに着いている石膏を綺麗に掃除しても良いですか。(作業中はある程度綺麗にしている状態)

A12 作業終了後、掃除をする時間を与えます。その後、提出して下さい。

Q13 上塗りは、コテ押えで良いのですか。(スタッコ以外の部)

A13 コテ押さえです。

Q14 自由課題のスタッコ仕上げにて仕上げ時に、石や葉、ビーズなどの埋め込み又は貼り付けをしても良いでしょうか?

A14 できあがったものを持ち込み使用することは禁止です。

Q15 スタッコ押えの道具は自作の物を使用しても良いでしょうか?

A15 コテで塗り付け、コテで頭を押さえて下さい。

Q16 スタッコ仕上げに於いてデザイン的な型板や型紙を使用し、型抜きにてデザインをしても良いでしょうか?

A16 注意事項に明記してあります。型板、型紙の使用は禁止です。

Q17 モジュール1 墨出しについて

Uトップを用いて中塗りしたところに関しても、中塗りの上に置引の取付墨を出すのでしょうか。

A17 出して下さい。